



皆さんこんにちは！

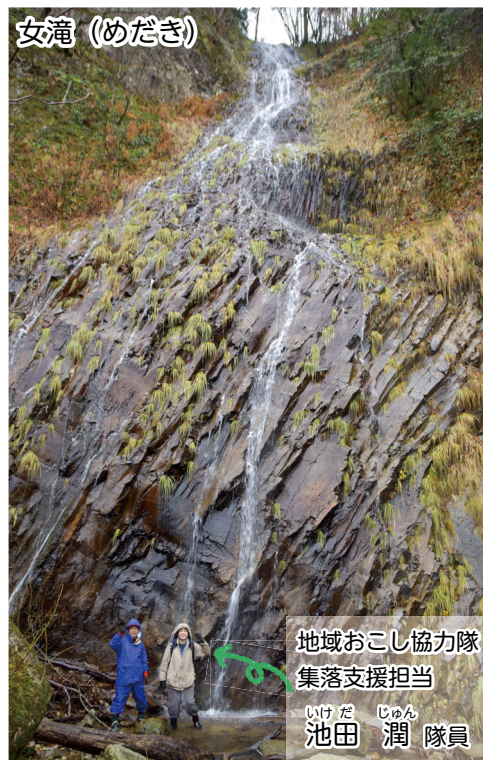
地域おこし協力隊の池田です。

今月の集落支援だよりでは、改めましての自己紹介、屋敷地区の皆さんによる男滝・女滝訪問、出ヶ原和紙講習会について紹介します。

改めましてこんにちは、地域おこし協力隊の池田潤と申します。島根の出雲から昨年5月にやってきました。西会津に来るまでは主に、中山間地域や離島での地域づくりのサポート、コンピュータのエンジニアなどをしていました。どうぞ引き続きよろしくお願ひします。

これまで奥川みらい交流館を拠点に活動してきましたが、広い西会津、野沢・尾野本・群岡地区の集落への支援を行うため、昨年11月から町役場本庁舎を拠点に活動して

再びの自己紹介



います。

さて、雪の季節となりました。雪の多さにビックリしています…と書きたいところですが、実は島根でも、雪が1晩に1層ほど積もる場所に住んでいました。西会津の雪を見ながら、当時の事を懐かしく思い出し、こちらでも雪かたしをしています。

男滝・女滝訪問

屋敷地区の皆さん4名が、

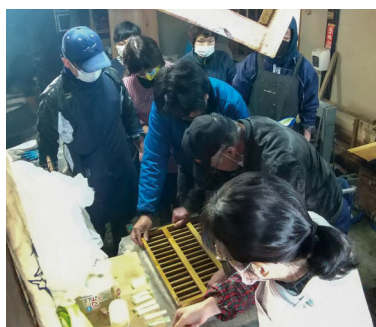
地域資源の再発掘を目的として男滝・女滝を訪れました。また、せつかくの機会ということで、滝の記録として映像と写真の撮影も行いました。

熊沢集落の奥から1時間半ほどの道のりを進むと、かなりスケールの大きな2つの滝にたどり着きました。かつてはさまざまな信仰の対象となってきた滝で、修験の場にもなっていたそうです。今回の参加者の中には数年前に訪れた人もいて、その時と比べ道がかなり崩れてしまっているとの声が聞かれました。

出ヶ原和紙講習会

屋敷地区では、今回撮影した映像のプチ上映会の開催や、今春にドローンを使って2つの滝の空撮を行いたいという声も挙がり、地域資源としての男滝・女滝の活用が模索されています。

私も、楮を蒸したり皮を煮たりする作業の補助や、紙漉き体験などを行う中で、会津藩御用達だったこの出ヶ原和紙に毎回想いを馳せています。



出ヶ原和紙講習会の様子



男滝 (おだき)

として、第3回から滝澤さんの補助として参加しています。

この講座は、出ヶ原和紙づくりを実際に行うもので、出ヶ原集落内外の皆さんが参加しています。

参加者の皆さんからは、「アルカリの薬品は水何湯に對し何々入れるのか?」、「今の状態で紙を漉くとどんな紙ができるのか?」という専門的で具体的な質問が毎回出て、出ヶ原和紙の復活に向けた熱気が感じられる講習会となっています。